

㊦ (小計 58点)

問一 (14点) 自分は調律師としてはまだ見習いでしかないことを、思わず由仁に言いたくなかったが、目の前の由仁の落胆した様子を見て、言い訳はせずに調律をしようと思ったということ。

問二 (12点) ふたごのピアノを高く評価している柳さんなら、たとえ彼女に指輪を渡す用事があっても、ピアノを修理してから彼女に会いに行く気がしていたので、断ったのは事務の北川さんかもしれないと予想していたから。

問三 (14点) 柳さんが演奏を評価し、大切に調律しているふたごのピアノを、まだ見習いの自分が触ってだめにしてしまったので、後ろめたさから知られたくないと思いつつも、ピアノを調律し直して助けてほしいと願っている。

問四 (18点) すばらしい調律師になるための道のりは長く、先が見えないように感じている。しかし、板鳥さんからハンマーを受け取った自分には、その目標に向かって努力し続ける覚悟があるのだとわかったということ。

㊧ (小計 32点)

問一 (14点) 直接描かれていないことの意味を補うために使う、ドラマや映画の舞台となる文化における日常生活についての知識と、ストーリーの一般的展開のしかたについての知識のこと。

問二 (18点) 覚えるべき内容に興味づけをし、必要な情報のみに注意を向けさせるはたらきのあるスキーマによって、記憶がゆがめられたり、違った形で思い出されたりしてしまうというマイナスの面について述べている。

㊨ (小計 10点)

- (2点×5)
- | | |
|-----------|--------|
| (1) 査定 | (2) 増収 |
| (3) 束(ねる) | (4) 看過 |
| (5) 意気投合 | |

【出典】

- ㊦ 宮下奈都『羊と鋼の森』
㊧ 今井むつみ『学びとは何か——〈探究人〉になるために』